

令和7年度 学校園評価(関係者評価)シート

学校園名	加古川市立平岡東幼稚園
------	-------------

1 教育目標 心豊かに学び合い 育ちあう子どもの育成

2 基本方針
幼稚園の生活の中で自ら心を動かす物事に会い、遊びに取り入れたり、また友達と一緒に工夫したり考え合ったりしながら遊ぶ楽しさを味わい、主体的でたくましく生きる力を育む。

3 指導目標

- 心も体も健やかで 明るい子
- 思いやりがあり 心の優しい子
- 様々な経験を通して 主体的に遊ぶ子
- 自分の思いを伝え 素直に表現する子
- 感じる心 考える力がある子

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
基本的な生活習慣を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人に、自ら進んで挨拶をする。 早寝早起きをし、朝食を食べ、健康に過ごす。 自分でできることを自分でしようとする。 	B	<p>○平岡ユニット挨拶運動で学期ごとに行う「おはようデイ」の取り組みに、今年度は保護者へ協力を求めた。登園してきた園児や地域の方へ保護者と一緒に挨拶することで挨拶の大切さを感じることができた。初めて出会う人や地域の方へも積極的に挨拶しようとしている。次年度も継続していきたい。</p> <p>○生活習慣が乱れがちな長期休業中に家庭で取り組んでもらえるよう「はやね・はやおき・あさごはんカード」を作ったが、効果的な活用にまでは至らなかった。年々就寝時間が遅くなる傾向にある。健やかな成長のため基本的な生活習慣を確立することができるよう啓発し家庭と連携を図っていきたい。</p>
豊かな体験を通して主体的に活動する。	<ul style="list-style-type: none"> 伸び伸びと身体を動かして遊ぶ。 生活の中で季節を感じ、身近な自然に興味・関心をもって、遊びに取り入れて楽しむ。 いろいろな運動遊びに挑戦し、体を動かすことを楽しんだり諦めずに頑張ろうとしたりし、達成感や満足感を味わう。 	B	<p>○四季折々の草花や木の実を遊びに取り入れて遊んだ。園庭に意図的に雑草を残すことで小虫がより多く生息し、生き物との関わりが豊かな体験となり、教育活動が充実した。また、園庭の果物の収穫や野菜を栽培し調理することで食への関心も深まった。</p> <p>○様々な運動遊びを幼児の興味のあるテーマにのせて遊ぶことで、自分の得意なことを活かしながら少し難しいことに挑戦したり、次への意欲につながることができた。自分なりの目標をもち、友達と励まし合って繰り返し取り組もうとし、できるようになった喜びを感じ自信につながった。</p> <p>○残暑が厳しく、秋の運動会前も戸外遊びが制限され、思うように遊びや練習が進まないことがあった。また、園児数減少のためプログラム内容に検討を重ねた。次年度の行事開催時期や実施内容について検討したい。</p>
様々な人とかかわる中で愛情や信頼感、自己肯定感を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人に親しみ、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 様々な人とかかわる中で、自分に自信をもつようになっていく。 友達の思いに気付き、受け入れたり折り合いをつけ遊ぼうとしたりし、思いやりの気持ちをもつ。 	B	<p>○本園は創立50周年であったため、子ども達と「幼稚園50歳おめでとう」を年間テーマに、お祝いの気持ちと周囲の方々への感謝の気持ちが芽生えるように意識して保育を行った。造形展には、お世話になっている地域の方々や小学生等、多くの人をお招きして、一緒に遊ぶ楽しさを共有し幼稚園教育を知っていただき、子ども達は感謝の気持ちや愛情、自信を感じる機会となった。次年度末に閉園となるが、生まれ育った土山の町に親しみ、愛着をもち、地域の一員であることを喜べるような教育活動を展開したい。</p> <p>○少人数であることから、関わり合いが生まれる環境構成や保育内容の検討を重ねた。統合園とのバス遠足や交流会を計画したことで、他園の友達との関わりを喜び良い刺激となった。引き続き積極的に交流の場をもったり地域へ出かけ様々な環境に触れたりすることで、幼稚園だけではできないような経験や感情体験に努めたい。</p>

自己評価の適切さ (関係者評価)	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 園を訪れると、園児から挨拶してくれて嬉しい。安全の観点から知らない人に声を掛けられても返さない風潮であるが、園はこども達が安心できる場であるからこそ、おはようデイや日常で挨拶の大切さを伝え実践してほしい。 生活習慣については、両親の仕事等の都合やSNSの視聴も関係している。今後も家庭と連携して取り組んでほしい。 	B
<ul style="list-style-type: none"> 自然物に親しむのは大事なことだ。自分から環境に関わって遊ぶことで、考える力、科学の芽も育っている。園へ来るたびに、こども達が生き生きとしている様子を見ることができた。よく遊んでいる子は大きくなると伸びてくる。これからは幼稚園ならではの遊び、体験をさせてほしい。 	B
<ul style="list-style-type: none"> 家庭だけで様々な人と関わることは難しいので、幼稚園でいろいろな方々とふれあえる機会を、これからも継続してもらってほしい。 生活発表会の劇遊びで、友達をよく見ていたり、次の役割を知らせようと声を掛けたりして、思いやりの心や協調性が育っているのが見えた。少人数であるからこそ育ったものがある。教職員の努力が見えた。 	A